大井川源流部を学ぶ視察会　日程

期日	項目	時間	行程および説明の内容
10月27日	川根町民文化会館（チャリム）集合	9:00	
	オリエンテーション及び概要説明		研修会の概要説明、視察資料の配布、説明
	川根町駿遠橋下		河床低下の現状視察・駿遠橋の橋脚は河床低下で洗掘され、基底部を露出倒壊防止のため防護しブロックで補強している
	笹間川ダム		大井川上流で取水し、発電に利水された水は各地点の発電所に送られて、利水され一度も大井川本川に戻されることなく笹間川ダムに集められて、下流の川口発電所へ送水される
	塩郷堰堤		この堰堤は大井川ダム及び支流寸又川合流点下流の余水を集めて笹間川ダムに送水するが、堰堤建設から30年間(水利権)ゲートを降ろして貯水を始めると一滴の水も流れず、河原砂漠が出現し16年前に「水返せ運動」によって5tの水が流れることになった
	四季の里		トイレ休憩
	長尾川水路橋		導水トンネルからの流水を支流長尾川と次の支流中津川に水路橋を構築して境川ダムに送水する
	大井川ダムと奥泉発電所		大井川ダムは大井川発電所(崎平)の取水のために、大井川本川を堰き止める最初にできたダムで井川山林からの木材の流送を阻止することになり補償問題で係争となったが電力会社が全面的に補償要求を受入れて解決した
	接岨峡温泉会館	11:30 －12:15	昼食(休憩)
	井川・田代（テシャマンク）		トイレ休憩
	二軒小屋ロッジ 田代ダム 取水水路 取水口 本川流路（滝）	15:30 －16:30	<u>田代川第二発電所(東電)とのかかわりについて</u> 1. 大井川の本川から山梨県早川（富士川水系）へ導水されている 2. 最大取水量4. 99㎥／s　　最大使用水量 5. 34㎥／s 3. 水路延長　　田代川第二(発) 6, 200m　落差 501. 8m 〃 第一(発) 5, 800m　落差 350.. 2m 計　　12, 000m　　852. 0m 4. 田代ダムの標高　1, 400m　田代川第二(発)の標高 900m 5. 水利権取得　　大正10. 2. 17 発電用水許可期
	椹島ロッジ(泊まり)	17:00	夕食(18:00予定)

期日	項目	時間	行程および説明の内容
10月28日	椹島ロッジ	6:00 10:00	朝食 研修及び意見交換（8:00予定） 講師　東海フォレスト株式会社　前社長　内海　登　氏 大井川を再生する会　小澤　節子　氏 ロッジ出発
	井川・田代 （テシャマンク）		トイレ休憩
	白樺荘	12:00 －13:00	昼食(休憩)
	井川ダム		井川ダムはわが国で初めてのホーロー・グラビティ(中空重力)タイプを採用し昭和32年9月に竣工し日英水力電気(株)が調査してから50年目に実現した。高さ100メートル直下の左岸の井川発電所は落差92.7メートル、最大出力62，000kwである。長島ダム建設前は年間流量の調整と洪水調節・農業用水・飲用水の安定供給を図ってきた
	長島ダム		国土交通省直轄の多目的ダムで洪水調整のほか農業用水・水道用水の補給の水利を調整します。 この水は直接大井川に流されるのではなく、中電の発電用導水トンネルによって送水されます
	川根町民文化会館 （チャリム）到着	16:00	解　散